

社会福祉協議会ではこんな事業を行っています。

① 地域福祉活動

- **ひとり暮らし高齢者等誕生月プレゼント訪問**
65才以上で寝たきりの状態にある方や、80才以上でひとり暮らしの方の社会的孤立感の解消を図るため、校区社協ボランティアが手作りの品を持って誕生月にお祝い訪問しています。
- **電話訪問**
77才以上のひとり暮らしの方を対象に、月一回、校区社協ボランティアの協力を得て、安否確認の電話訪問を実施しています。
- **ふとん丸洗い乾燥サービス**
寝たきりの状態にある方々が少しでも快適に暮らしていただくため実施しています。
対象：65才以上で寝たきりの状態にある方
重度の身体障害者で寝たきりの状態にある方
- **ひとり暮らし老人の会**
65才以上のひとり暮らしの方が、校区社協ボランティアの協力を得ながら自主的に運営する会です。
- **ふれあい配食サービス**
校区社協ボランティアが安否確認をかねて、月2回訪問します。
対象：70才以上の方のみの世帯
障害者のみの世帯
障害者と70才以上の方のみの世帯
- **おせち料理配食サービス**
80才以上の方のみの世帯、障害者のみの世帯、障害者と80才以上の方のみの世帯の希望者に、おせち料理配食サービスを実施しています。

② 校区社会福祉協議会活動

校区社会福祉協議会は、小学校区を単位とする住民の自主的な組織で、地域における社会福祉の実践組織として、福祉課題の解決に取り組んでいます。

- **小地域ネットワーク活動**
 - ・個別援助活動（見守り・声かけ等）
 - ・グループ援助活動（いきいきサロン、子育てサロン・会食会等）
- **地域福祉活動計画の推進**
 - ・ワークショップ
 - ・地域福祉コーディネーター
 - ・地域福祉活動シンポジウム

③ 日常生活自立支援事業

④ 貸付

⑤ 善意銀行

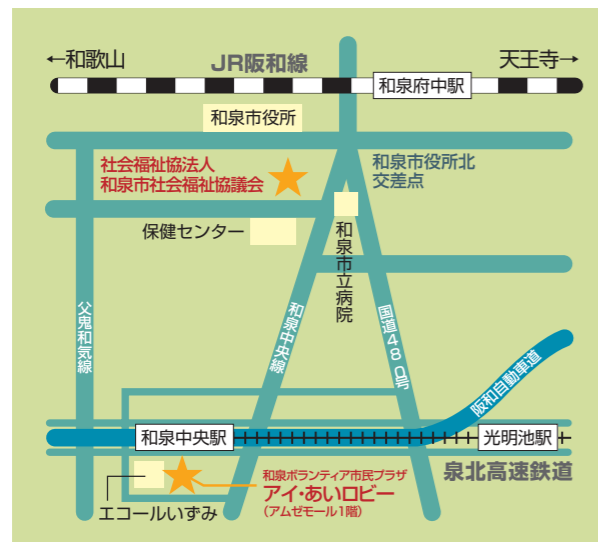
⑥ 社会福祉基金

⑦ 共同募金運動

⑧ 心配ごと相談所

⑨ 各種団体事務

⑩ いずみファミリー・サポート・センター



社会福祉協議会 和泉市社会福祉協議会

〒594-0071 和泉市府中町4丁目20番4号
Tel.0725-43-7514 Fax.0725-41-3154
Eメール: izumisya@abelia.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izumi-syakyo.net/>
利用時間: 午前9時～午後5時15分
(土・日・祝・年末年始は休み)

和泉ボランティア市民プラザ アイ・あいロビー

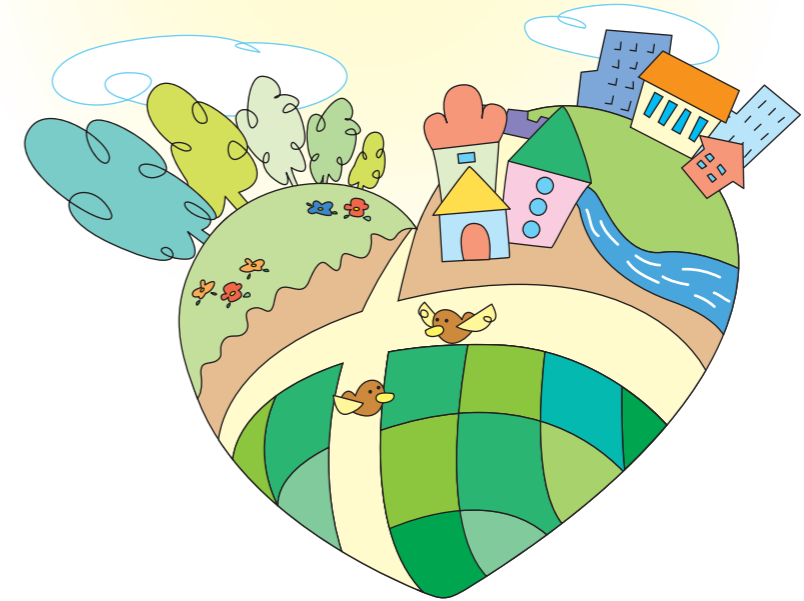
〒594-0041 和泉市いぶき野5丁目1番7号
(和泉中央駅南側歩行者デッキ・アムゼモール1階)
Tel.0725-57-0294 Fax.0725-57-3294
Eメール: izumi-vc@alto.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://izumi-syakyo.net/aiiai>
利用時間: 午前9時～午後5時
(毎月最終日曜、年末年始は休み)

ボランティアグループ等が会議や研修のため自由に利用できる場を提供すると共に、ボランティアアドバイザーによるボランティアに関する相談及び活動情報の提供、養成講座の開催等、ボランティア活動の推進に努めています。

第2次

和泉市地域福祉活動計画

～地域の福祉の力 みんなで広げる 大きな輪～



地域福祉計画・地域福祉活動計画とは

地域福祉計画は、地域福祉の推進を達成するための社会福祉の理念として、社会福祉法で定められています。社会福祉協議会が策定する地域福祉活動計画自体は法的に定められたものではありませんが、市の策定する地域福祉計画とは車の両輪の関係にあります。

第2次和泉市地域福祉計画が主に、地域の中に安心の生活支援のしくみを持つ福祉社会実現のための総合的な施策を示しているのに対し、第2次和泉市地域福祉活動計画では、「市民相互の支え合いや市民活動のネットワーク化」、「市民の主体的な取り組みによる地域づくり」といった福祉コミュニティを実現するための民間活動を推進していきます。

社会福祉協議会とは

社会福祉協議会は、社会福祉法により「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」と定められている、公共性・公益性の高い民間非営利団体であり、住民主体の理念に基づき、地域が抱えている福祉問題を地域全体の問題としてとらえ、みんなで考え、話し合い、福祉課題の解決に向けて取り組むという活動を通して、福祉コミュニティづくりと地域福祉を推進することが期待されています。



●第2次和泉市地域福祉活動計画の概要

計画の基本理念

第1次計画においては、計画を進めるうえでの基本的考え方について、地域住民と共有し協働で進めるため、共通のキャッチフレーズとして次のように設定しました。

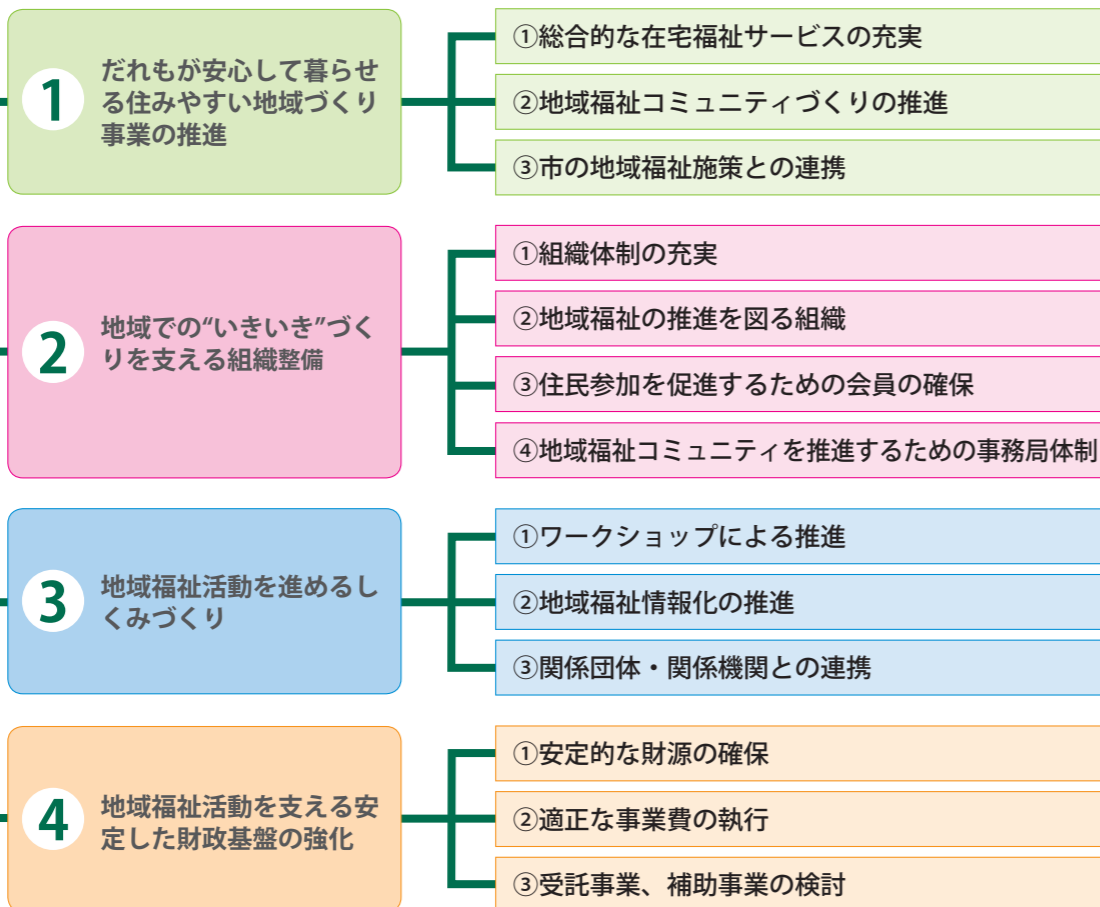
まちづくり みんなで広げる 大きな輪

計画の見直しにあたり、「第2次地域福祉活動計画」を推進するため尊重すべき基本理念について、基本的に第1次計画を踏襲するものの、みんなで広げる大きな輪を具体的にわかりやすく「地域の福祉の力」として、次のように設定します。

地域の福祉の力 みんなで広げる 大きな輪

この意味は、地域住民が、互いに支え、支えられる地域福祉の担い手であり、受け手であることを理解し、認め合うことによって、人と人との支え合いや助け合いなどの共助を育んでいけるような、人と人との結びつきの輪づくりをめざします。

推進に向けた取り組み体系



●具体的に計画を進めていくためには・・・

和泉市社会福祉協議会では、小学校区を中心に「共に支えあう福祉のまちづくり」をめざして、町会・自治会、民生委員・児童委員、ボランティア、婦人会、老人クラブなど地域にある各種団体の参加と協力によりつくられる校区社会福祉協議会を結成し、この校区社会福祉協議会が展開するさまざまな地域福祉活動を支援しています。また、地域には、校区社会福祉協議会のほかにも、地域のために活動している人や専門的な知識・技術を持つ福祉施設や事業所もあります。これらを活用しながら、地域の福祉力を強化・活性化させることが大切です。

そのためには、すでに活動している人たちやこれから活動したい人たちをつなげ、大きな地域の福祉力にし、地域の中の困りごとを解決していくために、市民や企業、行政、福祉施設及び事業所、大学等と連携して、地域の福祉力を活性化させていきたいと考えています。

●各校区社会福祉協議会の取り組み目標（テーマ）

各地域がかかえる生活課題はさまざまであり、それを解決していくためにはそれぞれの地域での取り組みが重要です。そこで、第2次地域福祉活動計画策定にあたり、小学校区別に地域懇談会（ワークショップ）を開催し、第1次地域福祉活動計画策定後の取り組みや課題などを検討していただくとともに、今後の取り組みについても検討していただきました。その際に、話し合っていたいただいた具体的なテーマ（目標）を紹介させていただきます。

校区	目標（テーマ）	校区	目標（テーマ）
国府校区	笑顔でふれあう地域(まち)づくり	横山校区	好きやねん 横山 ～笑顔で一声話・和・輪！～
和気校区	住んでみたい、暮らしてみたい、頼れる校区！	南横山校区	助け合う街 南横山！！
伯太校区	人の輪ができる 明るく 豊かで安全なまちづくり	幸校区	住民の交流と声かけ（見守り、注意）でトラブルの少ない街を！！
池上校区	小地域ネットワーク 弥生池上の活動を広める	信太校区	笑顔であいさつ 住みよい信太
黒鳥校区	参画によって 広げる交流の場	鶴山台南校区	ネットワークづくり
芦部校区	みんなが笑えるまちづくり	鶴山台北校区	「地域は一つ」うるおいのある町に！！
北池田校区	赤ちゃんから高齢者まで、声かけ合って興味をもてる地域づくりを！	緑ヶ丘校区	声かけ合って みんなが安心・助け合い
南池田校区	世代を超えて 皆が集う南池田	光明台南校区	助け合う 住みよい街づくり
北松尾校区	みんなおいでよ！ 楽しいよ！！	光明台北校区	交流の場の充実（住民交流推進委員会の発展）
南松尾校区	安全で住みやすいまちづくり	いぶき野校区	温かさと思いやりにあふれ、知・情・意のバランスによる活力あるまちづくり
		青葉はつが野校区	明るく優しい街づくり！！

